

今日の道徳の授業について

平成28年11月12日(土) 第1校時

渋谷区立西原小学校

第2学年1組 担任 貴田 俊

2組 担任 宮崎 歩

3組 担任 田中 和子

◇今日の主題 生命の尊さ

◇今日の資料 「ふしぎな 音」

◇今日のねらい 生命のすばらしさに気づき、かけがえのない生命を大切にしようとする心情を育てる。

◇主題について

「ふしぎな 音」とは、心臓の音である。校医の先生の命にかかわる話に驚いた主人公が、聴診器で自分の不思議な心臓の音を耳にし、たった一つしかない命への思いを深めていくという話である。校医の先生の命にかかわる話に驚き、自分の命について知りたくなる主人公の気持ちに共感させながら、命があるからこそ人間はいろいろなことができることやその命には限りがあることに気付かせ、かけがえのない命の大切さについて考えさせたい。また、この心臓の音を聞く体験活動を行うことで「命」を実感としてとらえることができるようにしたい。

◇今日の学習の流れ

導入	○生きていると感じた体験を話し合う
展開	○資料「ふしぎな 音」を読む。 ①「ふしぎな 音」を聞いて、しょうた君は、どんなことに気が付いたか。 ・ぼくは生きている ・人間はすごい。 ・心臓の音は、命の音なのだ。 ②全員で「命の音」を聞いたり、感じたりしてみよう。 ・本当に音が聞こえた。 ・この音が止まらないように命を大切にしよう。 ③生きているからできることに、何があるか。 ・生きているから、友達と過ごせる。 ・いきているから、けんかをする。 ④もう一度、「生きている」と感じた体験を振り返り、考える。 ・今感じている。 ・生きているからみんなと勉強することができる。 ・運動したり、遊んだりするのは生きているからできる。
終末	○教師の説話を聞く。

